

ふれあいネットワーク

# だんだん

「だんだん」は、西日本の一部地方の方言で「ありがとう」という意味です。のんびりした暮らしを連想させるこの言葉を、活動のテーマにしています。

社会福祉協議会ニュータウン中央南支部の広報です。

高齢化、頻発する大規模災害…ご近所の助け合いは大切です。社会福祉協議会は、住民どうしが支え合う地域づくり（地域福祉）に取り組んでいます。

支部のエリアは、高花、原山、内野小学校の区域です。

## だんだんランチ15周年

まだ印西牧の原駅まで電車が開通していなかった二十数年前、中央駅周辺の高齢者を対象に、建設されたての高花保健福祉センターで、社会福祉協議会本部が主催した「ふれあい給食」が始まりました。

その後、徐々に人口が増加し、北総線をはさんでエリアを南北に分割し、支部ごとの独自提案で実施されることになりました。ニュータウン中央南支部では、準備期間を経て15年前の5月から、「だんだんランチ」がスタート。会場は、サザンプラザを経て、現在の中央駅前地域交流館で10年ほど前から実施しています。

毎月第4水曜日のお昼に実施。原則70歳以上の一人暮らし（昼間お一人の方も可）で、調理や買い物に少しお困りの方を対象にしています。



↑ 一食は200円。だんだんランチは、この利用料と、年に一度皆さんからご寄付いただく「赤い羽根共同募金」が財源になっています。

季節のメニュー8品。→ 「目も喜び、口も喜んでいきます。」

その日の献立は、会場内の黒板に季節のチョーク画とともに板書します ↓



送迎ボランティアもあり、雨でも安心。「毎月、皆さんにお会いできるのが楽しみです。」 →



だんだんランチの看板娘(?) → 受付嬢歴13年と10年のお二人。「入れ替わりがあるので、お顔を間違えないように。」



利用者、ボランティア、いつでも募集中。

お問合せは、46-4157 正谷(マサタニ)まで。

見守りもかねてお弁当の配達もします。高花六丁目西自治会の利用者は、地区集会所でお弁当会食にしています。 →



調理はすべてボランティアの手作り。お弁当もあわせ約100食を60名弱のスタッフで、調理、配達、送迎、接待しています。





同じ年の独身紳士。  
独身歴は20年。でも、やっぱり  
一人より大勢がおいしい！



お食事にはちょっとした講話やご披露も。  
この日は弾き語りに聞きほれて…



昭和の懐メロと一緒に



皆さんが美味しい  
と食べてくださる  
のが何よりも  
うれしいです。



ビンゴ！

元気でなければできないこと。  
健康に感謝！



四季折々に  
工夫された  
メニュー。  
勉強になります。



人の作ってくれたものは、  
何でも美味しい。有難い！

## 支え合う地域づくりの拠点を



真間地区社協の拠点「よってこ」の外観

### 市川市真間地区社協の拠点「よってこ」を見学

高齢化や大規模災害に備え、住民どうしが支え合う地域づくり（地域福祉）を進めるためには、活動の拠点がぜひとも必要。気軽に立ち寄れ、人が集まり、情報が集まる場。そんな拠点が身近な地域にほしいと、当支部では昨年度、拠点の設置を社協本部、市に強く要望し、自らも他市を見学するなどしています。

7月、市川市真間地区社協と交流し、拠点、地域サロンの見学しました。市川市真間地区では、すでに15年前から拠点・サロンが設置され、小学校の空き教室を経て8年前から商店街の空き店舗で毎日開かれています。



見学メンバー



「よってこ」の事務スペース

「高齢者のサロンをつくったら、意外に障がいの方の利用が多かった」など、貴重な体験談も伺えました。  
当市の遅れを実感。多くの学びがありました。



「よってこ」の内部 壁面はギャラリー

#### 問合せ 連絡先

内 野／志賀泰次郎 46-5825  
原 山／小関ミツ子 37-7237

高 花／山下順三 46-6896  
戸神台／野中文代 46-4134